

東高

国際だより

平成30年6月10日
京都府立東舞鶴高等学校
国際教育部発行

2018 vol.3

3年・国際文化コースが田植え体験をしました！（5月16日）

3年4組（国際文化コース）37名が「日本文化」の授業で、地元農家(棕本和明様)の援助を受けて、古代米の一種「朝紫」の苗を植えました。自分達の文化を海外の人達に語れるための実践の一つですが、生徒たちは泥に足を取られながらも無事に苗を植えることができました。NHKのニュースでも取り上げて頂きました。



田植え実習報告

棕本さん、お忙しい中、事前学習から実習まで時間を割いて頂き、また田んぼも私達のために準備して下さりまして有り難うございました。

私は小学校5年生の時に授業で田植えをしたことはありましたが、全く覚えていませんでした。正直、簡単にできると思っていたのに、少し進んだだけで疲れ大変でした。

終わったあとに棕本さんが植えられた所と自分の植えた所を比べてみると、風が吹いた時に自分の苗は風に押し倒されて横に向いていたのに対して、棕本さんの苗はしっかり上を向いたままでした。それを見て、植え込みが浅かったのだなあと思いました。

今回改めてお米を食べられることの有り難さと田植えをされる方の大変さを知り、感謝の気持ちを持つことができました。美味しいお米が食べられることは当たり前ではなく、作って下さる方がいてこそだなあと感じました。とてもよい経験だったので、日本の伝統としてもっとたくさんの学生にも経験してほしいと思います。食事の際にはすべての食材に感謝し、稲刈りも頑張りたいです。 藤澤 美晴（白糸中学出身）

東高先生の Another Sky 2回目 河合 勝寿 先生（数学科）

私は青年海外協力隊の数学教師という職種で約2年間、アフリカのモザンビーク共和国の中等学校で現地の生徒に数学を教えていました。現地では小学校1年生から通して学年を数えるため、中等学校の生徒は11年生、12年生（日本で言う高2、高3）です。1学年18組、1クラス60～70名で12年生は7:00～12:00、11年生は12:15～17:15、夜間が17:30～22:30の3部制となっています。45分授業で休み時間は5分。3限と4限の間は10分もあるため、生徒は猛ダッシュで近所の市場まで買い食いをして行き小腹を満たして戻ってきます。さて授業の方ですが、こちらは公用語のポルトガル語で行います。日本の訓練所や現地語学学校の先生・スタッフに恵まれたこと、現地でポルトガル語を話すしかないという状況にあったことで、人生で初めて外国語で外国人と普通に会話をするという経験をしました。（英語では全くできませんが。）そういう生活を送っていくと不思議なもので、脳がその言語のモードになり、耳から入ってくる言葉をいちいち翻訳しなくても聞いたままの形で内容が頭に入ってくるのです。人間の脳ってすごいんですね。1つの言語を習得したことで、派遣中の2年間で約700名の生徒に数学を教えることができ、またたくさんの人々との素晴らしい出会いがありました。高校を卒業して現地の大学の医学部、教育学部、農学部に進学した生徒たちもいます。出会えた生徒たちが自らの夢を実現し、一方で彼らそれぞれの専門性を生かして現在のモザンビークが直面する課題の解決にその力を尽くし、よりよい国づくりに貢献して欲しい。今後がとても楽しみです。



東高引揚語り部さん紹介 1年1組 藤原 暖さん 1年4組 谷口 喜蘭さん

若浦中学校出身の1年女子生徒2名が舞鶴引揚記念会館で引揚げの語り部として活躍しています。4月26日にはNHK総合テレビ「京いちにちニュース630」でその活動が取り上げられました。

Q いつから語り部を始めましたか。

A 中学2年の3学期に「語り部養成講座」を受けて、中学3年の4月から活動しています。

Q 始めた理由は何ですか。

A (藤原さん) 歴史が好きで、学校で紹介されたとき興味を持ちました。

(谷口さん) 語り部をする前に読み聞かせボランティアに参加しており、講座も先生に奨められました。紙芝居を読むときもただ読むだけではなく、内容を理解していた方がより伝わると思いました。

Q どんなことをしているのですか。

A 舞鶴の引揚の歴史に興味を持って来館された方に話をしたり、記念館の案内や紙芝居などのイベントの取組を手伝ったりしてします。

Q 一番心に残っていることは何ですか。

A (藤原さん) 来場されたお客さんと文通をしています。当時のことをたくさん教えてくださいました。

(谷口さん) 実際に抑留されていた方が来館されたとき、泣きながらお話をしてくれました。

Q 東高の人に伝えたいことは何ですか。

A ユネスコ世界記憶遺産に登録されている舞鶴引揚記念館に是非足を運び、舞鶴の深い歴史を学んで欲しいです。



冬期オーストラリア中期留学 (教育委員会補助あり)募集!

留学先 クイーンズランド州の高校

期間 H31.1.27～4.7

募集 京都府で14名程度

費用 100万円(60万円と補助対象経費の1/2を比較し、少ない方の額を補助金として支給)

条件 1学年及び2学年対象

また、成績面での条件があります。

校内締め切り 6月29日(金) 国際教育部野田まで

興味がある人は早い目に来て下さいね!

詳しい説明をします。

「府立高校生グローバルチャレンジ500」参加者決定

今年度は6人が申込み、その中で次の2名の海外研修参加が決定しました。

☆イギリス・スコットランドのエディンバラ
2年4組 井本 亜由さん(白糸中出身)

☆オーストラリアのアデレード市
2年5組 杏澤 瞳さん(白糸中出身)
教育委員会補助事業なので、各々の約半額の補助が出ます。一度 Try しませんか。

「国際だより」は下のQRコードからもアクセスできます。

